

令和6年度中央区地域包括支援センター運営協議会議事録

1. 開催日時 令和6年8月5日(月) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 中央区役所 804会議室

3. 出席者 委員 11名 事務局 5名 傍聴者 0名

4. 議題

(1) 令和5年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

① 地域包括支援センター月別実績報告書

② 地域ケア会議について

③ 地域包括支援センターの連絡会等実施状況

(2) 令和6年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

(非公開)

(3) 特定事業所へのサービス集中率について(非公表)

(4) 地域包括ケア充実のための事業目標(非公表)

(5) その他

5. 当日出された意見及び事務局回答

(1) 令和5年度中央区地域包括支援センターの運営状況報告

① 地域包括支援センター月別実績報告書

〈委員〉

住民主体活動の後方支援について、いろんな活動の立ち上げ相談をおこなっているということだが、具体的にどういうものをカウントされているのか。

〈事務局〉

地域主体で、地域で集まれる場を立ち上げる際に、地域包括支援センターが後方支援した場合、計上している。地域主催の会議とは重複しないことになっている。

② 地域ケア会議について

〈委員〉

地域ケア会議の開催数は、前年度比と同等になっている。地域での様々な会議は増加してきたとの説明だったが、行政で決められている地域ケア会議の回数は年間何回と決まっていたと思う。コロナ禍で回数が緩和されていると聞いているが、現状と今後増やしていくのかを知りたい。

〈事務局〉

地域ケア会議は、例年、各地域包括支援センターで年1回から2回開催している。年間計画の中で必要に応じて実施していくため、年度によって増減がある。また、地域ケア会議の内容に応じて出席者を決定しているため、参加人数にも差がある。

令和5年度は地域主催の会議が増加したこともあり、日程調整が難しく、計画していたが開催できなかった地域ケア会議もあった。令和6年度は計画的な開催により、回数を確保したい。

〈委員〉

地域ケア会議で、各地域包括支援センターが、どのように地域の課題を収集されるのか。各地域包括支援センターの取り組みは、地域のケアマネジャーと情報交換・連携が主となっている。いろんな業種・事業所・地域の方も困っていることがたくさんある。医療とも連携しながら、地域

で課題を出し合う場があればいい。

〈事務局〉

地域ケア会議では、地域住民や圏域事業所等の参加者を集め、課題の抽出や課題解決のため、テーマに応じて対話ができる場を設定し、ネットワーク構築も図っている。それ以外にも訪問介護部会、訪問看護部会等の事業所が集まる場、ケアマネジャーの交流の場等を活用し、課題を抽出している。様々なところからご意見をいただく必要があると認識しているため、内容に応じてその都度、お声かけさせていただきたい。

③地域包括支援センターの連絡会等実施状況

〈委員〉

以前は、高齢者虐待の研修会、ネットワーク協議会が開催され参加したが、コロナの影響かここ数年は区役所で開催していないような気がするが、今後再開される予定か。

〈事務局〉

高齢者虐待について、コロナの影響はあったものの、令和5年度も含めて年1回研修会を行っている。対象者が毎年違っており、昨年度は、基礎的な内容で実施した。令和6年度は、ケアマネジャーを対象とした研修を年度当初より計画している。

また、ネットワーク協議会は、神戸市の方針で、各区での開催は必須ではなくなった。

〈委員〉

一圏域当たりの運営推進会議は全市14.2、中央区3.7、地域ケア会議は全市2.5、中央区は1.6となっている。これは、どう捉えたらいいのか。

〈事務局〉

コロナ禍で、地域密着型のサービス推進会議は開催していなかったが、コロナが感染症の第5類に移行してから、会議が再開されてきている。運営推進会議はセンターが主体となって行うものではないため、運営推進会議への出席数だけを見て地域包括支援センターの活動が少ないと判断はしていない。

(2)令和6年度中央区地域包括支援センターの事業計画書について

〈委員〉

地域包括支援センター、ケアマネジャーを含め、高齢者福祉のシステムがわかりにくい。

〈事務局〉

各地域包括支援センター圏域内に居宅介護支援事業所やデイサービス・訪問介護など事業所が複数ある。サービス調整を行うのが主にケアマネジャーの役割ではあるが、センターはケアマネジャーからの相談対応や、場合によっては、処遇対応の後方支援を行っている。地域包括支援センターが、様々な事業所を包括的に支援しているというイメージをもっていただくと構図的にわかりやすい。

〈委員〉

ケアマネジャーは、各地域包括支援センターに何名かいるのか。

〈事務局〉

地域包括支援センターに介護予防プランナーとして配置しており、介護度に合わせて対象者にサービス調整し、ケアプランを作成している。

(5)その他

〈委員〉

地域包括支援センターへの理解が難しい医師もいるが、医療と介護をつなぐために、医療介護サポートセンターがある。さらに「あんすこドクター」という形で、地域包括支援センター圏域ごとに、開業医を登録している。地域ケア会議や研修会への参加は時間の都合もあり難しいが、出

来る限り、出席いただくよう医師に伝えているため、ぜひお声かけいただければと思う。三師会でも、「地域 BCP」といって、地域のネットワークを通して災害時の連携を図りたいと思っている。

〈委員〉

民生委員で地域の見守りをしている。小地域支え合い連絡会等で、研修の受講や意見交換をさせてもらっている。地域で精神的に病んでいる方もおり、解決に導きたいと思っているが、その辺はどうお考えか。

〈事務局〉

令和 5 年度の地域ケア会議にて「認知症の関係では、オレンジチームが活動しているが、精神疾患に関しても同様の仕組みがあればいい」と話しがあり、市にも提言している。事業所やケアマネジャーだけで関わっていくのは難しい。地域包括支援センター、区も含めて、関係機関と引き続き課題解決のために検討していきたい。